

「XF15 マイスター研修プログラム」を開催 ネットイーグル(株)



少数精鋭で非住宅物件の高度なCAD入力スキルを学べる「XF15 マイスター研修プログラム」

2010年の「公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律」施行や2021年の「脱炭素社会の実現に資する等のための建築物等における木材の利用の促進に関する法律」施行により、公共施設や店舗・倉庫等の民間施設における非住宅物件の木質化が急速に進んでいる。

そうした中、木造プレカットCAD/CAMシステム大手のネットイーグル(株) (福岡県福岡市、祖父江久好社長) では、1月23日から25日までの3日間、非住宅木造プレカットCAD「XF15」を用いた高レベルなCAD入力スキルを学ぶことができる研修制度「XF15 マイスター研修プログラム」を開催した。

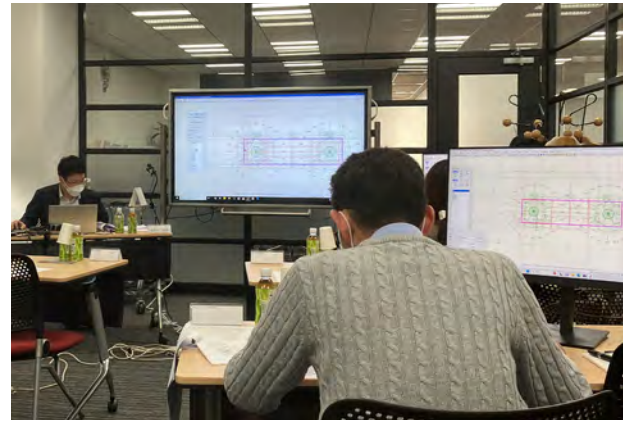
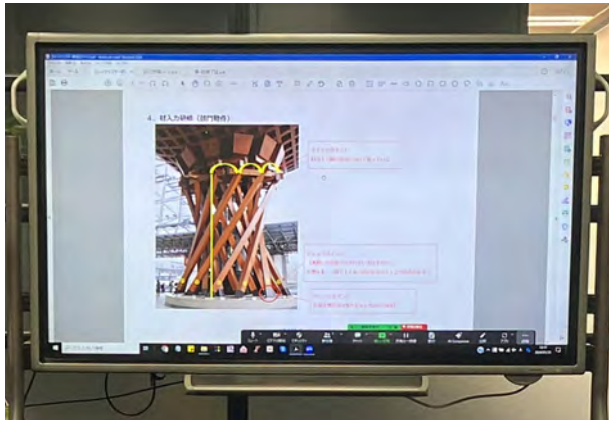
非住宅物件は一般住宅と異なり、特殊材や製作金物を使用した複雑な架構が多く含まれているため、CAD入力には専門知識と一定の経験が必要となってくる。同社では、これまで手がけた非住宅物件のCAD入力代行の実績を活か

し、そのノウハウを同社の設計担当者が指導する。参加対象となるのはXF15でのCAD入力経験者で、3日間で入門編から中級編(前)まで集中的に指導を受ける。また、研修で学んだ内容を復習する際に役立つよう、受講者には研修の様子を収録した動画も配信される。

高度な入力スキルを実践形式で指導

第1回目の研修会にはXF15ユーザーのプレカット会社から非住宅物件の入力経験者が3名参加。おおまかな研修の流れとしては、

- ① 課題の納まり提示
- ② 納まり入力のポイントについて入力方法を各自で検討
- ③ 検討した入力方法の答え合わせ
- ④ 検討した入力方法に対するフィードバック



研修で一番最初に指導するのは金沢駅の鼓門を題材とした材入力の基本

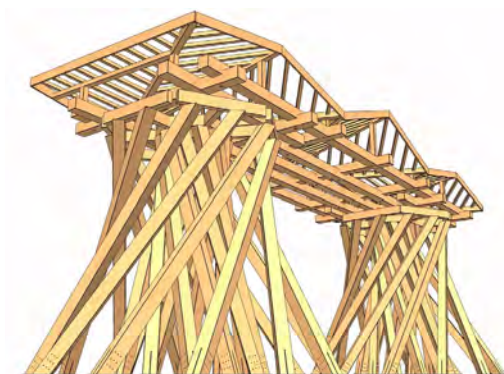
- ⑤ 実際に入力
- ⑥ 質疑応答
- ⑦ 自己評価

となっており、入門編で8項目、初級編で8項目、中級編（前）で8項目の合計24項目をこのフローで進め、図面の読み方から入力の考え方、実践的な方法などをワークショップ形式で指導。実践を通じて非住宅物件のCAD入力をスキルアップさせていく。

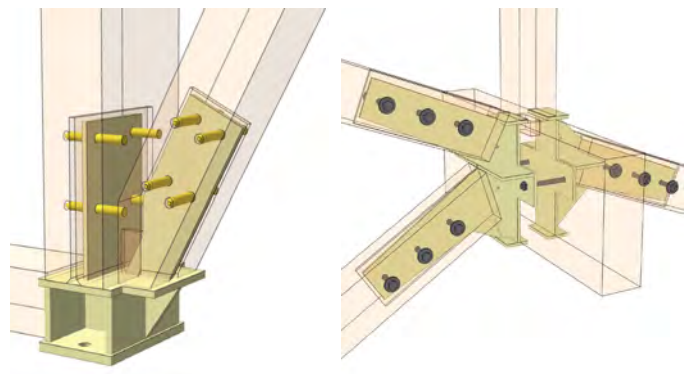
研修の1日目は、まず最初に金沢駅の鼓門を題材とした材入力の基本を学ぶ研修を行い、入門編へと移行した。入門編では「立体方杖」「登梁テーパー加工 + 交差部加工」「載せかけ梁受金物」「梁と梁のダボパイプ接合」「金物形状での丸太入力」「梁受金物の横使い」「梁端部木カバー取付欠取」「柱脚と筋違の一体金物」など、非住宅物件のCAD入力では初歩的な8項目について入力指導を行った。

2日目は午前中に初級編として、「出隅合わせ柱への貫加工」「合わせ柱への貫加工」「柱 + 棟木 + 合わせ登梁の十字接合金物」「十字柱脚金物 + 引きボルト」「化粧部材へのスリット加工入力」「コの字型金物」「3材にまたがる扇形状GPL」「斜め登梁2本を接合するT字金物」など、難易度が比較的低めの8項目について入力指導を行った。

2日目の午後と最終日の午前にはアクロバティックな設計がなされた物件を教材に中級編（前）として、「転んだ斜め登梁のT字金物」「2材にまたがる扇形状GPL」「合わせ梁端部のT字金物」「梁受金物BPLの柱埋込」「合わせ梁金物BPLの梁天端埋込」「方杖と合わせ柱にまたがる扇形状GPL」「化粧部材での金物BPLを隠す入力」「在来仕口 + 引きボルト + ボックス金物」など、難易度が高めの8項目の納まりについて入力指導を行い、研修会の最後には受講者に修了証が発行された。



材入力の研修物件



入門編の納まり例（左）と中級編の納まり例（右）

第1回「XF15マイスター研修プログラム」受講者の声

第1回「XF15 マイスター研修プログラム」には、すでにXF15を導入しているランバー宮崎協同組合、後藤木材(株)、京北プレカット(株)からCADオペレーター各1名が受講した。

研修会の最終日に、受講しての感想を伺ったところ「今までは自己流で入力していたが、今回の研修でXF15の知らなかった機能や上手くいかなかった入力方法を教えてもらった。自社での入力業務はもちろん他社と協業する際にも活かしていきたい」や「これまでは手探りで入力していたため行き詰ることも多く、他のCADで補ったりしてましたが、今回の研修を経て、XF15だけで完結できるよう応用力を伸ばせた。自社に戻ってからは研修で習得した技術を他のオペレーターにも伝えていき、ノウハウを共有していきたい」、「最初に導入研修を受けた4年前からすごく進化していると感じました。普段は別



ネットイーグル(株)の設計担当者が丁寧に指導

のCADも使っていますが、研修で学んだXF15の強みを適材適所で仕事に活かしていきたい」とCAD入力の技術指導に手ごたえを感じている旨を述べた。

また、「研修の内容を録画してもらえた事もありがたいと思いました。研修で覚えきれない部分や、時間経過で忘れてしまった事をマニュアル的に動画で振り返ることができるのでとても安心です」と研修後のサポート面についても満足している旨も述べた。

今後、同社では入門編～中級編（前）のマイスター研修プログラムを3カ月ごとに年4回開催する予定。また、これに続くカリキュラムとして、入門編～中級編（前）の修了者を対象とした中級編（後）～上級編のマイスター研修プログラムを要望に応じて開催していく予定となっている。

中級編（後）の内容は「コの字BPLの柱金物」「合掌下端金物の袋スリット」「合わせ梁と合わせ柱の金物接合」「立体方杖と登梁の金物接合（1）」「立体方杖と登梁の金物接合（2）」「鉄板と木材の複合梁」「T字金物の溶接逃げ面取加工」「方杖金物の十字BPLを相手材埋込」の8項目。上級編の内容は「合わせ梁と合わせ柱の複数GPL金物接合（1）」「合わせ梁と合わせ柱の複数GPL金物接合（2）」「立体方杖

と東の金物接合」「立体方杖と登梁と東の金物接合」「L字BPL金物の横使い」「既製品金物と製作金物の同時使用」「立体トラス上端」「立体トラス下端」「ボックス型BPLの梁受金物+引きボルト」「東+方杖+転ばせ母屋を一体の金物で接合」の10項目となっている。

また、同社製品の保守サービスを提供するクラブ会員制度「スピリットクラブ」の会員向けにXF15の導入研修動画を1月30日に公開。ここではXF15を導入したユーザーが、基本的なXF15の操作について動画で研修できるようになっている。物件や入力の各種設定、仕様作成、寸法入力、加工配置、加工区分、積算機能、帳票出力、1棟入力など36項目に分かれた解説動画がアップされており、会員であれば、いつでもXF15の基本操作を復習できる。